

本所消防防災マガジン

～高めよう 確かな知識と みんなの意識～



令和3年3月号 最終号

火災から尊い生命を守ろう

令和2年度東京消防庁防火標語

もう一度 確認 安心 火の用心

作者 菅野 珠加さん（江戸川区在住）



《令和3年春の火災予防運動》

令和3年春の火災予防運動ポスター

1 火災予防運動の目的

都民の皆様、防火防災に関する意識や防災行動力を高めていただくことにより、火災の発生を防ぎ、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。

2 実施期間

令和3年3月1日（月）から
3月7日（日）まで

3 本所消防署での取り組み

① 広報活動

- ・商業施設、駅、ホテルにおいて、懸垂幕・横断幕による広報
- ・商業施設での館内放送による広報
- ・町会や自治会によるポスターや立て看板での広報
- ・本所消防団や本所防火女性の会による巡回広報
- ・つながるNEWS・J:COMでの広報

② その他

- ・事業所による自衛消防訓練、建物への立ち入り検査の推進、救命講習など



《令和2年中の火災発生状況》

[東京消防庁管内]

1 火災件数

令和2年中に東京消防庁管内で発生した火災は3,688件（前年比401件減少）、そのうち建物火災は2,667件（同237件減少）と約72%を占めています。また、火災による死者は88人（同20人減少）でした。

墨田区において発生した火災は77件（同3件減少）、火災による死者は2人（増減なし）でした。

2 住宅火災の発生状況及び出火原因

令和2年中、火災件数は減少していますが、住宅火災は前年に比べ7件増加しています。住宅火災の割合は、建物から出火した火災件数2,667件のうち58.1%を占めています。

また、令和2年中、住宅火災の出火原因で多いのが、「こんろ」411件（26.5%）、「たばこ」201件（13.0%）、「放火」144件（9.3%）でした（図1）。特に、こんろ火災は、前年と比べ67件増加しています。

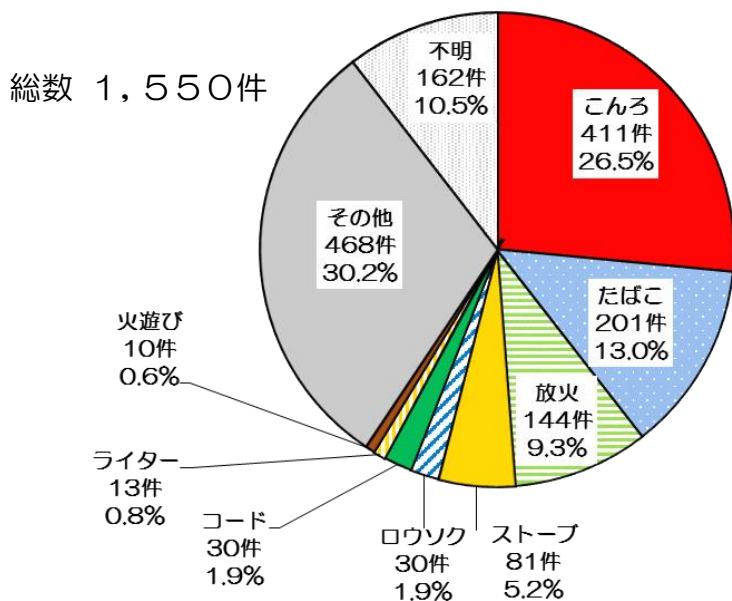


図1 令和2年中 住宅火災の出火原因

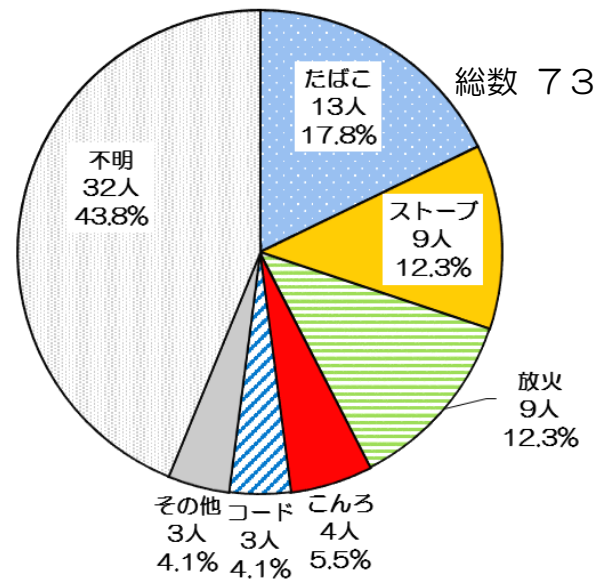


図2 令和2年中の住宅火災による出火原因別死者数

3 住宅火災による死者の発生状況及び出火原因

令和2年中の住宅火災による死者は73人で、前年に比べ10人減少しています。そのうち、65歳以上の高齢者は、54人と全体の74.0%を占めています。

令和2年中、住宅火災による死者を出火原因別でみると、「たばこ」が多く13人（17.8%）、次いで「ストーブ」9人（12.3%）となっています（図2）。「たばこ」では、寝たばこ等で「火源が落下する」火災で死者が多く発生しています。

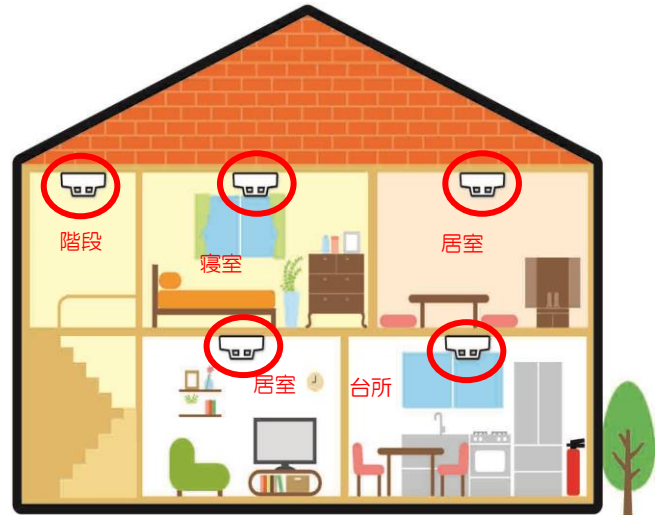
《住宅用火災警報器の設置と維持管理》

1 火災予防条例に適合した設置

東京消防庁管内では、平成 16 年 10 月から新築の住宅に住宅用火災警報器（以下「住警器」）の設置が義務付けられ、既存の住宅には、平成 22 年 4 月から設置が義務付けられています。

住警器を設置することで、火災を早期に発見し、速やかな通報や消火、避難が可能となり、被害を防止・軽減することができます。

住警器は、全ての居室、台所及び階段に必ず設置しましょう。

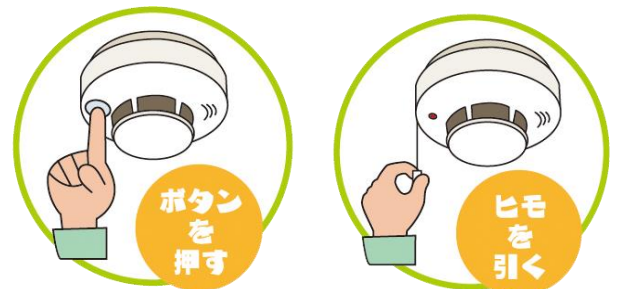


2 適正な維持管理・点検について

住警器は定期的に作動確認しましょう。

作動確認は、本体の点検ボタンを押すか、ひも付きのものは、ひもを引くことで行うことができます。

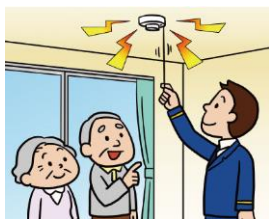
音が鳴らない場合は、電池切れか故障が考えられます。詳しくは取扱説明書をご覧ください、消防署までお問い合わせください。



3 交換時期について

住警器の耐用年数は概ね 10 年といわれ、全ての住宅に設置が義務化されたときから 10 年が経過していることから、いざという時に鳴らない住警器が多く存在していることが予想されます。

設置から 10 年を過ぎているものは、電子部品の劣化等による故障や電池切れにより、火災を感知できなくなる可能性が高まるため、住警器の設置年月を確認して、本体の交換をしましょう。



- 全ての居室、台所及び階段に必ず設置しましょう。
- 定期的に作動状態の確認や機器本体の清掃をしましょう。
- 設置から 10 年を経過したものは本体の交換をしましょう。
- 連動型や屋外警報装置付きの住警器を設置すると、より安心です。

『お知らせ』

今月号をもちまして、本所消防防災マガジンの配信を終了します。今後も東京消防庁や本所消防署のホームページ・東京消防庁公式アプリ・SNS 等で防火防災に関する情報を配信しますので、こちらをご確認ください。

本所消防署災害状況
(令和 3 年 2 月 28 日現在)
火災 11 件 焼損床面積 0m²
救助 41 件 救急 1291 件

お問合せは

〔 警防課防災安全係 地域防災担当 〕
電話 3622-0119 (内線 323)

詳しくはホームページへ

〔 東京消防庁 HP www.tfd.metro.tokyo.jp
署 HP www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-honjyo/index.html 〕